

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーの未来はあなたの手の中に
The Future of Rotary Is in Your Hands
国際ロータリー会長 John Kenny



世界にも目を向けよう
Reaching Out to the World
富津中央RC会長 志波 克

2009～2010

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2143 第27回例会 2010. 1. 21 晴

点 鐘：原田雅式 副会長
進 行：大網庄一郎 副 SAA
ソング：手に手つないで

会長挨拶

副会長 原田雅式



皆様こんにちは、今年も新年早々大きなニュースが3つありました。民主党の小沢さんの政治資金の問題、ハイチの大地震、JALの問題、今日はJALの事をお話したいと思います。19日に会社更生法申請により再生がままりました。

- 再生案、
- ① リストラ 15,700人、
 - ② 関連会社 110社半分整理
 - ③ 国内 31路線見直し
 - ④ 公的資金 9,000億円投入
 - ⑤ 5年メドでジャンボ機全廃

今まで何回となく会社の建て直しをやってきた訳で

すが、実現できず、最悪の事態になった。私なりに「原因はなんだろうか?」と考えましたがいくつかあると思います。1つは組合の問題、整備、乗員、客室、パイロット、関連会社等6つある。それと政府が指導しても不採算路線の廃止ができなかったこと。従業員の「JALはつぶれない」という慢心。高すぎる企業年金、JAL ということで銀行団の湯水のごとき融資。関連会社を含めた2兆3千億の借入。こんな事かなと思います。今後政府、京セラの稲盛会長、企業支援再生機構により9月までに再生できるのでは?と思います。

幹事報告

幹事 榎本守男



皆さん、こんにちは！ 今朝7時志波会長より電話がありました。てっきり成田へ無事到着したとの知らせだと思いましたが、霧のためデリーを発つことが

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~frcr>



できず、ホテルに引き返したとのことでした。無事の帰国を祈りたいと思います。お昼の12時頃、袖ヶ浦クラブの幹事、高村さんに電話したら、今ピッツバーグにいるとのことでした。今日は、特に世界も近くなったなと感じました。世界への羽JALも昨日で破綻、寂しい限りです。私の心配は株やマイレージよりもJALグローバルメンバーがどうなるのかです。取得するのは至難の業で1年間に5万マイルフライオンポイントが必要だからです。東京ー大阪なら3日に1回の往復で1年間120回利用してやっと獲得できるぐらいです。JALの再生願うばかりです。来週は夜間親睦例会ですお時間間違えないよう出席をお願いします。

報告事項

1. 国際親善奨学生募集 ローター財団より
2. 袖ヶ浦ロータリークラブ 他クラブ会員様に卓話をお願いする企画に賛同のお礼
2月15日12時30分レストラン菜心味袖ヶ浦店 卓話者 榎本守男(富津中央)
3. 国際ロータリー2720地区前岡志郎パストガバナーより日本ロータリークラブ認証順位一覧表が送付されました当クラブは2351クラブ中766位でした。(創立日昭和41年1月13日 認証月日は昭和41年12月12日)
4. 上総ロータリークラブより会報送付されました。回覧します。
5. 茂原ロータリークラブ ローター出前教室企画案が届いています。昨年11月25日に茂原中学校で実施されて好評だった企画です。回覧します。
6. IM2月5日出席者 永島 志波 原田 大須賀 高島 榎本 須藤 山田 高橋 石渡会員 10名です。13時受付開始
13時30分点鐘です。送迎は佐貫は永島さん 大貫は榎本でします。よろしくお願いします。

委員会報告

水仙観光俳句募集について

会員 千葉一利

鋸南町観光協会で、水仙観光俳句を募集しています。別紙にてご協力をお願いします。〆切は1月31日ですので、次の例会までに投句して下さい。

なお、選者は倉橋羊村氏と片山由美子氏です。

年頭所感

「自然体で」

会員 永島 強



以前、三井会員の計画で正月に寄席に行きましたが、それ以降毎年正月に寄席に行っています。今やっている会社を閉じ、これからは稲作りと野菜作りに専念したいと思っています。予定では60歳からそうしようと考えていましたが、少し遅れました。とにかくすべてに自然体で望みたいと思います。

「元気に過ごす」

会員 大網庄一郎



あけましておめでとうございます。

今年の正月は今までと違って70歳の私と67歳

の妻にとって、うれしい反面体力的にややきつい正月でした。

<うれしかったこと>

- ・三枝会員の「さきぐさ」でお世話になっている父親が一年ぶりに自分の家で正月を過ごせたこと。
- ・娘2家族9人(+犬2匹)家が3人総勢12人で賑やかな正月ができたこと。
- ・正月3日には、当クラブの忘年会を行ったブリストルヒルゴルフクラブに昼食に行きました。そこでなんとゴルフに来ていた、志波会長、榎本幹事親子、平川会員親子、石渡会員、高橋会員にバツタリお会いでき、私の家族も喜んでいました。

<きつかったこと>

- ・5人の孫の相手、父親の下の処理を含めた介護。疲れしました。
- 今年もみんなが元気に過ごせればいいなと思っています。

「年頭にあたり」

会員 佐藤信泰



年明けの日曜日、日本橋高島屋にて開催中の北大路魯山人没後50年展を観て来ましたので、感想を述べさせていただきます。

魯山人は1883年(明治16年)京都に生まれ、1959年(昭和34年)横浜にて死去。

魯山人は養家名の福田房次郎から生家名の北大路魯山人となりますが、養家が印判・木判業であったことから、まず書を学び、次いで刻字、篆刻、絵画、古美術、料理人、美食家、宴席空間づくり、陶芸、漆芸と芸術家としての領域を広げていきますが、その生涯の中で数多くの優れた才能の持ち主との出会いから貴重な示唆を得てゆき「自然美に帰れ」

「当意即妙」「持ち味を生かせ」と言う、芸術活動へのテーマが没後50年みごとによみ返っている印象を痛烈に受けた展覧会でした。

なお、この展覧会には日本とポルトガルの修好150周年を記念して1953年(昭和28年)に北大路魯山人と遊部重二氏によって制作された貨客船アンドレ・ディロン号(20,800t)の漆壁画「桜」と「富士」が里帰りし特別展示されております。

年初、人との出会いを大切にしようと考えておりました所、魯山人の生きざまを見て、一層痛感させられた次第です。



「和歌に親しむ」(11)

“文ちゃんの百人一首”より

会員 千葉一利

和歌に親しむ(8)で節会^{せちえ}について触れました。節会とは、宮中で行われる宴会のことです。その日天皇が出御し、群集に酒などを賜ります。これは平安時代から盛んになりました。特に元日^{がんにつ}、白馬^{あおうま}、踏歌^{とうか}、端午^{たんご}、豊^{とよ}の明かり^{あかり}は五節会として重視されたといひます。(千葉調べ)

十八首目 藤原敏行朝臣

すみのえ きし よ なみ
住之江の 岸に寄る波 よるさへや

ゆめ かよ じ ひとめ
夢の通ひ路 人目よくらむ

映像化：住之江は忘れな草が咲いているという、おもむきのある入り江です。岸辺に寄せる波は、昼でも夜でも、近づいてはすぐ引き返してしまうという、やるせない波です。せめて、夢の中では、人目を避けるように引き返してしまわないで、もっと大胆に打ち寄せてくれると嬉しいのですが。

豆知識：歌合せの会で、詠題「夢の中の恋路」
を受けて、作者が女性の立場に立って
詠んだ歌。 古今集

十九首目 伊勢

なにわがた 難波 濁みじかき 葦の ふしの間も

あわ 逢はでこの世を 過ぐしてよとや

映像化：旅で訪れた難波の浜辺には、たくさん
の葦が自生し、浜風にそよいでい
ます。ふと見ると葉陰に背の低い一
本があります。まだ伸びきれないの
でしょうか、節の間がすごく短く悲
しげにゆれています。この葦の節の
間より、短い時間でよいのですが、
お逢い出来ないのですか。やはり逢
わずに過ごせとおっしゃるのでしょ
うね。

豆知識：私家集「伊勢集」の詞書から、心が
わりしたつれない男の手紙に対して、
切ない女の恨みを詠んで、送り返し
た一首。 古今集

ニコニコBOX

親睦担当 大須賀三智男

刈込碩弥 三枝先生に句集をいただいて

小野恒靖 第16回ふれあいタウンニューイヤー
フェスタ、おかげ様で16名の外国人
を含む70名が参加し、盛大に開催さ
れました。渡辺、佐藤、大網、原田、
各会員ありがとうございました。

千葉一利 俳句をお願いして

合計 3,000円

出席報告

出席担当部長 高橋裕之

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21	17	4	0	80.95%
前回	21	18	3	0	85.71%

編集後記

先々週の編集後記に「三余」の一つ「冬」が読書
に適した時期だと書きました。確かに暑くても、春秋
の好季節でも、すぐに眠くなります。今は室内の温
度調節が可能ですので関係ないと思いますが、昔
はそうだったのでしょうか。

日本は四季のはっきりしたとても美しい国です。
人々はその季節の変化に応じ、さらにその良さや
特徴を生かして生活しています。冬の読書もその一
つでしょう。

「山里は 冬ぞさびしさ まさりける

人目も草も かれぬと思えば」

私の百人一首の紹介にはまだ出て来ませんが、
源宗于朝臣の歌です。山里の寂しさの良さは冬こ
そ勝ることはないということですが、冬の寂しさを「静
寂なる人生を楽しむには冬がよい」とプラスに考え、
歌ったように思われます。これが、わび・さびの世界
かどうか私にはわかりませんが“物は考えようだ”と
思いました。

人生よい事ばかりはありません。どんな時でもど
んな時でも物事をプラス思考で乗り切っていきたい
ものです。 (千葉)

